

令和三年度 第一学年 一学期中間テスト

五月二十一日(金)実施

第一学年()組()番 氏名()

① 一 次の傍線部の漢字の読みを答えなさい。
絶景に驚く。

② 専ら読書の日。

③ 襟元を開ける。

④ 速やかに退出する。

⑤ 紡績の工場。

② 次の傍線部を漢字に直しなさい。送り仮名がある場合はそれも書きなさい。

① 負けてくやしい。

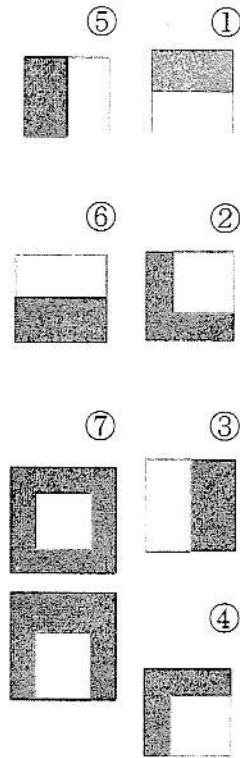
② 魚類のとくちよう。

③ ちようか料金。

④ 地位はあんたいだ。

⑤ い度と経度。

③ 漢字をつぎのように部分に分けたとき、色の付いた部分を何とよびますか。あとから一つずつ選びなさい。



ア…へん イ…あし ウ…によう エ…つくり
オ…たれ カ…かんむり キ…かまえ

④ ①③の漢字群で、それぞれ共通する部首を書きなさい。

(例)桜・案・束・査 (木)

① 思・意・怖・情 ()

② 倍・会・住・倉 ()

③ 熱・灯・然・照 ()

五 次の詩を読んで、次の問いに答えなさい。

A カムチャツカの若者が
きりんの夢を見ているとき

B メキシコの娘は
朝もやの中でバスを待っている

C ニューヨークの少女が
ほほえみながら寝がえりをうつとき

D ローマの少年は
柱頭を染める朝陽にウインクする
この地球では

いつもどこかで朝がはじまっている

ぼくらは朝をリレーするのだ

経度から経度へと

そうしていわば交替で地球を守る

眠る前のひととき耳をすますと

どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる

それはあなたの送った朝を

誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ

① AとDのそれぞれの部分は、朝・昼・夜のうちのいつを表しているか。それぞれ書きなさい。

② CとDから感じ取れるものを、それぞれ次から一つずつ選びなさい。

ア…安心 イ…退屈 ウ…怒り エ…焦り オ…元気

③ ぼくらは朝をリレーするのだとは、どんな様子表現しているか。二十五字以内で書きなさい。

④ どこか遠くで目覚まし時計のベルが鳴ってると同じ意味を表す表現を、詩の中から一行で書きぬきなさい。

⑤ この詩が伝えようとしているのは、どんなことか。次から一つ選びなさい。

ア…わたしたちはみな、気づかないところで他人に支えられて生きているので、常に周りの人に感謝して生きるべきだ。

イ…この地球ではいつもどこかで朝がはじまっていて、わたしたちは、まるで朝をリレーするようにしているのだ。

ウ…わたしたちみんなが無事に朝をむかえられることに感謝し、これからも地球全体の平和を守らなければならぬ。

エ…地球は一瞬もとまることなく命を育んでおり、わたしたちはみな地球に守られて命をつないでいるのだ。

⑥ 次の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

「覚えているよ。」
シンタがそう言ってくれたときは驚いた。それから、こう続けたときも。
「僕が嫌いつて言ったとき、シユンタが傷ついたのもわかった。」
気づいていたんだ。謝ろうとした僕より先に、シンタが「ごめん。」
と言った。
「僕たち、あれからちよつとおかしいよな。ちよつとつていうより、
だいぶ。」
「うん。なんか。」
「つまらないことばかり話してさ。」
「本当にそうだね。」
シンタと僕が久しぶりに話をしているのを、クラスメイトたちが見ているのがわかった。
でも、僕は気にしなかった。
「僕、シンタと違うところを発見するのが怖かったんだ。」
シンタも、気にしていなかった。
「僕も！」
思ったより、大きな声が出たのだろう。シンタは照れくさそうに笑った。
「またシユンタを傷つけるのも怖かったしさ。」
「シンタのその笑顔が、僕は好きだった。大好きだった。」
「傷つかないよ。」
「え？」
「僕の好きなものをシンタが嫌いでも、僕は傷つかないよ。あ、ううん、傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」
シンタはまっすぐ僕を見た。僕もシンタをまっすぐに見た。僕たちはそっくりだった。
「うん。話そう。」
そっくりだけど、全然違う人間なのだった。
「話そう。たくさん。」
僕たちはそれから、前にもましておしゃべりになった。

① 以前の「僕」と「シンタ」はどのような関係だったか。
□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

・見た目や好きな物が□□□□で、よく□□□□□□をしていた。

② 「でも、僕は気にしなかった。」とありますが、なぜ気にしなかったのですか。考えて書きなさい。

③ 「シンタは照れくさそうに笑った」とあるが、このときのシンタの気持ちを二つ選びなさい。

ア…自分たちがクラス中の注目をあつめてしまつて、気まずい。
イ…シユンタと気持ちが通じ合つたことを感じられて、うれしい。
ウ…気持ちの高ぶりから大きな声が出てしまい、気はずかしい。
エ…自分とシユンタが似たようなことで悩んでいたのがおかし。
オ…シユンタがそれほど傷ついていないとわかり、ほつとした。

④ 「だからこそ話そうよ」とあるが、ここには「僕」のどんな思いが表れていますか。次から一つ選びなさい。

ア…意見の違いが原因で傷ついたとしても、謝れば許せるはずだ。
イ…意見が本当に違つているのかどうかは話さないとわからない。
ウ…違うところを話し合うことで、問題点がはっきりするはずだ。
エ…違いを認めて話し合うことで、より深く理解し合えるはずだ。

⑤ 「前にもましておしゃべりになった」とあるが、「僕」とシユンタは、以前と変化してどんな関係になったのか。「考えの違う」「怖がる」の二つの言葉を使って、三十文字以内で書きなさい。

中間テストとはどんなテストか

(例) 時期	(例) 内容

- ※次の思考ツールや構成メモは自由に使ってよい。(使わなくてもよい)
- 1 百六十字以上、二百字以内で書くこと。(句読点を含む)
 - 2 「初め」「中」「終わり」の構成で、少なくとも三段落作るこ
と。
 - 3 「中」では、中間テストと小学校のテストの共通点と相違点
にもふれて書くこと。
 - 4 原稿用紙の使い方に従って書くこと。
 - 5 文体は敬体(「です・ます」調)で書くこと。

【まとめ の言葉】 終わり	中 【詳しい 説明】	初め 【題材の 提示】

中間テスト

相違点

共通点

小学校のテスト

下館中学校 第一学年 前期 中間テスト 令和三年五月二十一日実施

一年
組
番
氏名

六		五		三		二		一	
				各2点		各2点		各2点	
②4点	事だつたから。	①完答4	見た目や好きな物が	④4点	いつもどこかで朝がはじまっている	⑥イ	①カ	①	①おどろ(く)
	へクラスメイトからどう見られるかよりも(シンタと話すことの方が大		そ		×いつもどこかで朝を始まっている様子 ×経度から経度へと交代で地球を守る	⑦キ	②ウ	②	②特徴
	き		っ	四各2点		③エ	③	③	③えりもと
	く		く	①		①心	③	③	③
	り		り		②	②	④	④	④すみ(やか)
	で、よく		お		③	③	⑤	⑤	⑤ぼうせき
	お	⑤4点	し	⑤	②各4点	⑤	⑤	⑤	⑤
	や		い		③	③	⑤	⑤	⑤
	べ		イ		④	④	⑤	⑤	⑤
	り				⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
	を				⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
	していた。				⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
④4点	エ				⑧	⑧	⑧	⑧	⑧

										⑤ 5点	
										の	お
										で	た
										は	が
										な	い
										く	の
										、	考
										認	え
										め	方
										合	の
										え	違
										る	い
										関	を
										係	怖
										。	が
											る

採点規準（⑩点満点からの減点方式）

① 字数が満たしていない（－10）

② 三段落以上でなく、「初め」「中」「終わり」になっていない。（－2）

③ 「中」で、共通点と相違点にふれていない（－2）

④ 原稿用紙の使い方（誤り・言葉の間違い）（一つにつき－1）

⑤ 敬体でない（－2）